

教育検討委員会報告事項資料

2020 年 10 月 6 日
担当理事 阿部なつ江

1. 教育検討委員会 2020 年度総会

連合大会期間中の 7 月 15 日 18 時 30 分から 20 時に、委任状 4 名を含む 20 名（7 月 1 日現在、委員総数は 30 名）とオブザーバ 1 名が出席して、Zoom 会議システムを用いたオンラインで開催した。2019 年度活動報告の後、2020 年度活動計画と「防災教育小委員会設置の提案」について、資料（7 月 22 日に委員会ウェブサイトで公開済み）を用いて審議した。

2019 年度の活動報告では、教員免許状更新講習事業について、現状では関東地区のみで開催されていることについて問題提起があり、関東圏外での需要の確認、全国での実施にともなう事務処理量増大への対処を含め、担当グループが検討し、委員会に報告することとなった。

2020 年度活動計画についての審議では、2020 年度予算査定総額は 140 万円であったが、連合 2020 年大会現地開催をオンライン開催に変更したことに伴う予算の大幅な見直しが必要となり、ほぼ執行停止中であり、委員会活動計画を大幅に縮小せざるをえないことが説明され、了承された。なお、全国地学教育関係者オンライン情報交換会の活動への支援について検討することとなった。中井 仁 委員他 6 名から提出された「防災教育小委員会設置の提案」についての審議では、提案代表者（中井 仁 委員）による趣旨説明に続く種々の意見交換の結果、JpGU 他委員会との調整などを含めた今後の進め方について幹事会で検討することとなった。

最後に、理事会「地球惑星科学総合に関するタスクフォース」についての報告があった。

2. 連合大会 2020 パブリックセッション

大会初日の 7 月 12 日 9 時から 12 時 15 分まで、パブリックセッション「学校教育で使用されている地球惑星科学教材」を開催し、学校教育で使用されている地球惑星科学教材、特に教科書の内容に関する招待講演 12 件（総合討論向け招待講演 4 件を含む）がおこなわれた。常時 100 名前後の参加者があり、過去の地学・地理教育に関するパブリックセッション参加者数最大時とほぼ同程度であった。本セッション開催の成果として、例えば、大会後に本セッションでの講演内容を月刊「地理」誌にて特集として掲載する準備が進んでいること、学校教員が主要メンバーである地学教育のオンライン会合に本セッションの招待講演者が加わること、などが挙げられる。今年度の地学・地理教育に関するパブリックセッションでも、第一線で活躍する研究者と学校教育関係者とを結びつける一助の役を果たせたと考えている。

総合討論では、フロアーからの発言を求めたにも関わらず、フロアーからの音声を流すことができなかったことが残念であった。座長がフロアーからの発言を許可した場合、発言を流せるようにすることを、今後のオンライン開催時には行えるように改善して貰いたいと感じた。

3. 全国地学教育関係者オンライン情報交換会

10月1日現在で交換会（Slackで運用）に114名が参加している。これまでに、ZOOM交流会を各月第2、第4土曜日（6月13日、6月27日、7月11日、7月25日、8月8日、8月22日、9月12日、9月26日）に実施しており、今後も年内に4回開催の予定である。各回、14名程度が参加して、情報交換、授業実践報告、学会・各県地学部会等の紹介などをおこなっている。

4. 教員免許状更新講習事業

- ・8月10日に【選択】海と私たちの生活（担当：市川洋、他1名）をオンラインで実施（受講者：10名）。
- ・8月11日に【選択】海はめぐる - 海洋科学の基礎と発展 - （担当：轡田邦夫、他2名）をオンラインで実施（受講者：8名）。
- ・9月20日に【選択】砂つぶから地球を読む - 世界の砂から土地のなりたちと地殻の進化を学ぶ（担当：萩谷宏）を東京都世田谷区で実施（受講者：9名）。
- ・9月14日に【選択】数値シミュレーションで学ぶ津波の基礎（12月25日開講予定、担当：丹羽淑博）の認定を申請（審査中）。
- ・受講料会員割引（1000円引き）、聴講料（3000円）を設けた（これまでの会員割引該当：1名2件）。

5. アースサイエンスウィーク・ジャパン 2020

一般市民への地球科学への理解と普及を目的とし、全米をはじめとする世界各地で実施されているアースサイエンスウィークの日本版であるアースサイエンスウィーク・ジャパン（ESWJ）を2020年度もアースサイエンスウィーク・ジャパン 2020として開催する。今回で3回目である。新型コロナウイルス感染対策のため、オンラインを中心とし、10月17日（土）～25日（日）に開催する。
詳細：<https://www.earthsciweekjp.org>

6. 地学オリンピック日本委員会

・とっぷレクチャー特別編

7月26日14時～16時に3月の本選で開催される予定であったトップレクチャー特別編を本選参加予定者（60名）向けにオンラインで行った。講師は岩崎純子氏（国土地理院）と宇都宮正志氏（産業技術総合研究所）であった。

・第13回日本地学オリンピック

新型コロナウイルス対策のため、例年と異なる日程・方式でおこなう。

募集	9月1日（火）～11月15日（日）	ウェブ申し込み受付のみ
一次予選	12月20日（日）14:00～15:00	自宅からのオンライン試験
二次予選	1月24日（日）午後	自宅からのオンライン試験
本選	3月14日（日）～16日（火）	つくば市で開催（オンライン試験の可能性あり）
代表選抜	3月16日（火）～17日（水）	つくば市で開催（オンライン試験の可能性あり）

- ・一般向け地球科学普及講座「地球をぶらり」
今年で3回目。新型コロナウイルス対策のため、オンライン開催。
日時 11月15日(日)14:00 - 16:00
講師 田近英一氏(東京大学)、林信太郎氏(秋田大学)
10月中旬に地学オリンピック HP で募集開始。

7. 国際地理オリンピック日本委員会

- ・第1次選抜試験
募集期間 9月1日(火)~11月15日(日)
試験日 12月12日(土)
内容 マルチメディアテスト
- ・第2次選抜試験
試験日 2月21日(日)
内容 記述式テスト(オンラインで実施)
対象 第1次選抜成績上位者(約100名)
- ・第3次選抜試験日程
試験日 3月13日(土)・14日(日)
内容 フィールドワークテスト(オンラインで実施)
対象 第1次・第2次選抜の総合点の上位者

8. 理数系学会教育問題連絡会

8月31日18時から20時に、連絡会に参加する全11学協会の合計16名の委員が出席して、オンラインで開催された(JpGUからは、市川 洋、丹羽 淑博、瀧上 豊の3委員が出席)。各学協会の活動の事後報告の後、今年度の活動内容についての意見交換がおこなわれ、その後、各学協会で行中の活動・イベントの予告などがおこなわれた。

今年度の活動内容についての意見交換の結果、近年の科学教育の状況において、本連絡会の重要性が高まっており、今後、連絡会および各学協会での検討を経て、各学協会の修正意見を取り入れた規約・申し合わせ事項2020年版を確定することとなった。また、連絡会で今後検討すべき課題として、前年度に提案された、理数教育のあり方および教員養成問題が提示されたが、継続審議となった。

次回は、2か月後を目途に作成される規約・申し合わせ事項2020年版の素案について検討するために、10月末以降に開催される予定。

詳細：<https://sites.google.com/site/risukeisocieties/>

以上